

# 琉球大学学術リポジトリ

三井物産株式会社臺北支店提供 [参考書類]

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): ※封筒番号365から370は三井物産株式会社臺北支店提供の一連の資料 臺灣米に関する資料 一. 臺灣米ノ産額 一. 臺灣米ノ移出 一. 外米ノ輸移入 一. 将来 資料形態 : 菊判／タイプ字 23.5cm×16cm, 矢内原忠雄, 台湾, 三井物産株式会社, 台北支店 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/38229">http://hdl.handle.net/20.500.12000/38229</a>



# 矢内原忠雄文庫

史料名	三井物産株式會社臺北支店提供[参考書類] 臺灣米に関する資料 一. 臺灣米ノ産額 一. 臺灣米ノ移出 一. 外米ノ輸移入 一. 将来
封筒番号	369
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成17年11月17日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	



# 矢内原忠雄文庫

封筒番号： 369

史料名	三井物産株式会社臺北支店提供[参考書類] 臺灣米に関する資料 一. 臺灣米ノ産額 一. 臺灣米ノ移出 一. 外米ノ輸移入 一. 将来
資料形態	菊判ノタイプ字
枚数	9
页数	9
縦 (cm)	23.5
横 (cm)	16
厚さ (cm)	
書誌的事項	台湾 ※封筒番号365から370は三井物産株式会社臺北支店提供の一連の資料  今泉分類記号：



(一) 北 臺

臺灣米ノ産額	
大正十一年	五四四五八一四石
大正十二年	四八六六〇八七石一 (早魃被害甚ダシ)
大正十三年	六〇七六六二八石
大正十四年	六四四三一六三石
大正十五年	六二一四一七二石一 (全島ニ亘リ稻熟病 瘦リ三割方減收)

埤圳ノ完成開墾地ノ増加ト他種作物ヨリノ轉作ニヨリ植  
 付甲數増加シ一方蓬萊米ノ增收トニヨリ最近十三年度ヨ  
 リ收穫著シク増加セリ  
 而シテ此ノ増加ヲ米種別ニ見ル時ハ蓬萊米糯米收穫増加  
 ニ反シ在來種ハ漸減的傾向ヲ示ス

三井物産株式會社



1/10



(二) 北 臺

	在來種	糯米	蓬萊米
大正十一年	四八五五一〇五石	五八三、四一三石	
大正十二年	四三三、二五八〇	四九四、五三九	三四一、六
大正十三年	五〇五五〇	四八六、七四七、三一	三四六、八四九
大正十四年	四、五五五、三四七	八九五、一五八	九九二、六五八
大正十五年	四〇五四、四九一	八五二、五七九、一三〇	七、一〇二

即チ蓬萊米ハ十三年度ニ於テ愈々收益ノ多大ナルヲ一般ニ認ムル所トナリ急激ナル増加ヲ來シ十五年度ニ八百三十萬石ノ收穫ヲナセリ糯米モ亦内地市場ニ漸ク聲價ヲ得テ最近五ヶ年間ニ五、六割ノ増加ヲ示セルニ反シ在來種ハ十三年ヲ最高トシテ爾來年々約五十萬石ノ減少ヲ示ス然

三井物産株式會社



(三) 北 臺

モ尙全收穫ノ年々約五十萬石ノ増加ヲ示セルハ實ニ蓬萊  
米ノ收量ハ他種米ニ比シテ多大ナルニ由ルモノナリ  
本島ニ在住スル内地人ハ本島土着ノ本島人ニ比シ其ノ割  
合僅少ニテ本島人ハ生活程度低キト古クヨリ食ヒ價レタ  
ル所謂臺灣米ヲ賞味シ味ノ濃厚ナル蓬萊米ハ不適ナルガ  
如シ從ツテ蓬萊米ハ糯米ト共ニ僅カノ消費米ヲ除キ其ノ  
收量ノ殆ンド全體ヲ擧ゲテ之レヲ内地ニ移出シテ内地ノ  
食料問題解決ノ鍵トナリ島内食料ノ不足ハ在來米ニ酷似  
セル外米ヲ輸入シテ充當セリ  
而シテ本島内地人ノ食料米タル内地米ハ蓬萊米ヲ代用シ  
十三年度ヨリ内地米ノ移入ハ激減シ昨年度ニ於テハ特殊

三井物産株式會社



(四) 北 臺

(鮭米)用ノ外移入スルモノナク將來之レノ移入ハ殆ン 下問題視スル價值ナカラシ 一臺灣米ノ移出	
大正十一年	七六七九九一石
大正十二年	一、二七九、二五三石
大正十三年	一、八八七、八六九石
大正十四年	二、四一、九三五六石
大正十五年	二、四一、六七八〇石
十三年度ヨリ移出激増シタルガ十四ノ十五兩年度ハ殊ニ 著シキ移出ヲ見タリ之レ一ツニ内地種米ノ増産シタルモ ノニシテ他ニ理由アルニアラズ	

三井物産株式會社



(五) 北 臺

在來米、糯米、蓬萊米ノ三種ニツイテ各年ノ移出高ヲ對比ス  
レバ左ノ如シ

	在來米	糯米	蓬萊米
大正十一年	四〇二、六五	一三〇、八〇六	一、二七五
大正十二年	六五四、五六八	四四九、二四七	四七、二六六
大正十三年	一、一〇五、八五三	三〇〇	三四、八四七
大正十四年	六四〇、一八二	一、五三二	一、一五七
大正十五年	四七五、一二四	九〇七、六八〇	一、〇四一

(註) 右ハ前述移出高表ト數量一ニ〇〇石ノ相違  
アルモ統計ノ出所ヲ異ニスルニヨリ原因不明ナ  
リ然シ乍ラ大體ノ傾向ハ窺知シ得ベシ

三井物産株式會社



(六) 北 臺

一、外米ノ輸移入

前述ノ如ク臺灣米ハ年々約五十萬石ヲ増産スルト雖モ移出數量ノ増加ハ到底其ノ比ニアラズ一方人口モ年々幾分ノ増加ヲ見ツ、四百萬人（一年四百三四十萬石ヲ要ス）ヲ算スルヲ以テ島内消費米ハ茲ニ不足ヲ來シ十一年度ヨリ引續キ外米ノ大量輸移入ヲナシソノ不足ヲ補充セリ外米及内地米ノ輸移入高左ノ如シ

大正十一年	二七〇一一	石	（十、十一年度ニ内地米ノ移入五七萬石アリ）
大正十二年	八〇六三二		（外ニ專賣局酒造用碎米一九五七五石ヲ輸入アリ）
大正十三年	七四四四七		、
大正十四年	六七二六三		、
			五三〇八四石

三井物産株式會社



(七) 北 臺

大正十五年 三六五、一九一石（外ニ專賣局酒造用碎米六三、一八六石ノ輸入アリ）

外米ノ移入多量ナルハ輸入税ノ關係ニヨルモノニテ内地ハ十一年及十四年輸入税免除セラレタレドモ臺灣ハ撤廢セズ止ムナク内地ノ港ニ於テ一旦輸入手續ヲトリ之レヲ臺灣ニ移入セルモノナリ

一、將 來

内地ハ年々食料米ノ不足ヲ訴ヘ現ニ本年度ニ於テ朝鮮五百萬、臺灣二百五十萬石ノ移入アルモノトシテ尙四百七十萬石ノ不足ヲ算シ補充ハ之レヲ外米ニ仰ガザルベカラズ將來年々此ノ程度ノ不足ハ内地米ノ六千五百萬石モトレル時代トナラザレバ緩和セラルコト事ナキヲ以テ臺灣ニ

三井物産株式會社



(八) 北 臺

於ケル蓬萊米ノ産額ハ如何ニ多量トナルトモ一向其ノ消費ニ行キ詰マル事ナケレバ蓬萊米ノ増産ハ將來尙繼續スルナラン

臺灣米ノ五ヶ年後ノ事ヲ推算スレバ

耕地ノ増加 年ニ二萬甲 五年後ニ八十萬甲 (半分二期作)

收穫量ノ増加 一甲一二石トシテモ百八十萬石

ヲ増スベク大部分ハ蓬萊米ニ代ヘラルトスレバ二百萬石以上ノ増加ヲ來スベシ斯クテ五ヶ年後ハ八百萬石乃至八百五十萬石收穫ヲ得ベク内地ニ向ツテ年ニ三百五十萬石ノ四百萬石ノ移出ヲナシ得ベク尙更ニ外米ヲ以テ消費米ヲ補フニ於テハ五百萬石ノ移出ハ難事ニ非ザルベシ然

三井物産株式會社



(九) 北 臺

モ品質ハ朝鮮米同等ノ蓬萊米ヲ以テシ茲ニ内地食料政策  
上臺灣ハ愈々一大勢力ヲ占ムルニ至ルナランカ

昭和二年三月二十八日

三井物産株式會社臺北支店

三井物産株式會社